後期高齢者医療保険料、介護保険料が「eL-QR」に対応

保険料の納付がさらに便利になります

町民課（後期高齢者医療保険料）　☎ 0465-85-5007
健康福祉課（介護保険料）　☎ 0465-83-8024

町税の納付に利用している地方税統一QRコード「eL-QR（エル・キューアール）」による納付を、11月から後期高齢者医療保険料、介護保険料にも拡大します。

11月以降に送付されるeL-QRが印字された納付書を利用して、スマートフォン決済アプリやクレジットカード、インターネットバンキングなどで納付できるようになります。

【ご注意ください】

・11月以降に発行する納付書が対象です。既に送付している納付書ではご利用いただけません。
・領収書は発行されません。領収書が必要な場合は、金融機関、コンビニエンスストア、役場会計室などで納付してください。
・キャッシュレス決済で納付した場合、領収印のない納付書が手元に残ります。二重納付にお気を付けください。

詳しくは「eL お支払サイト」をご確認ください。

【納付書の見方】



①eLマーク　②eL番号　③eL-QR（二次元コード）
二次元コードを使って納付する場合は、この部分を読み取ります。

※ QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

大井町昔ばなし その10
狐づきの話

病気が長く続いた人が、急に変わったことを言い出すことがありました。家族に向かって、まるでお客さまに話すように、たいへんていねいな言葉を使うのです。

自分の孫に、「こちらのお孫さまは……」、など話しかけることもありました。また、「わたしは、あの山から来ました」などと、家族にはわからないことを言うこともありました。

すると、まわりの人たちは、「これはおかしい。狐がついたのではないか」と考えました。

それまで食べなかった魚を、急に好んで食べるようになったり、目の様子が変わったり、食べ物をたくさん食べるようになったりすることもあったからです。

人々は、「狐が体のどこかに入り込み、この人の体を使って食べているのだ」と考えました。このような状態を「狐づき」と呼び、狐を追い出そうとして、加持や祈祷をすることもありました。

今から考えれば、病気による心身の変化であったのかもしれません。



出典：『大井町史 別編 民俗』※掲載スペースの都合上、一部を省略しています。　挿絵：こるり（学びおおいサポーター・町内在住）